

## 区政への主な意見と回答 令和6年9月分

9月にみなさまから寄せられた区政へのご意見・ご要望のうち、主なものを掲載します。  
内容から個人が特定されるようなものは除いてあります。

※区からの回答は当時のものであるため、現在とは異なる場合があります。

お問い合わせ 区政相談課 電話 03-3312-2111 (代表)

### 1 ケアマネ育児バージョンの設置 令和6年9月2日受付

Q 出産・育児の際に何でも相談できる、2人3脚のような形で寄り添ってくれる自分の家庭の「担当」がつくような制度を設けてほしいです。親ではなく第3者の意見も聞きたい人、単純に困ったときに自分の家庭の事情を理解したうえで相談に乗ってくれる人の存在をご検討いただけると嬉しいです。

A 現在、区では、安心して出産ができるよう妊娠の届出をした全妊婦さんに保健師や助産師等の専門職が、悩みやご相談を伺いながら面接を行う「ゆりかご面接」を実施しています。ゆりかご面接時には、区の制度やサービスをご案内し、それぞれの方にあったサービス利用をご提案し、1人ひとりにゆりかごプランを作成しています。

また、出産後4か月以内に保健師等の専門職が直接ご家庭を訪問し、育児に関する不安や悩みの相談に応じるとともに、子育てに関する情報提供を行う、すこやか赤ちゃん訪問を実施しています。

ご要望いただいた1対1の関係ではありませんが、地域の担当として保健センターや子どもセンターが個々のご相談を伺い、提案やサービスの紹介などをさせていただく伴走型の支援を行っています。さらに、その後の乳幼児健診などでも、お子さまの健康状態や子育ての悩みをお伺いしています。

担当 地域子育て支援課／保健サービス課

### 2 西荻窪西自転車駐車場について 令和6年9月2日受付

Q 西荻窪西自転車駐車場を通勤に利用していますが、利用料金が改定され、経済的な負担が倍になり困っています。そもそも駐輪可能台数が少なくなり、駐輪できないこともあり、朝の忙しい時間には大変困っています。もともと利用していた条件を変更されたのは、非常に残念です。若い世代、特に子育て世代が多く利用している駐輪場の利用料等の改定は、

区長の訴えていた政策に反するのではないのでしょうか。

A 旧西荻窪西自転車駐車場（以下、「当駐車場」という。）については、これまでJR中央線駅高架下部分を株式会社ジェイアール東日本都市開発（以下、「株都市開発」という。）から、区が賃借し管理運営をしていました。

令和4年度に入り、株都市開発から、自らが当駐車場を整備し管理運営を行うため、当駐車場を返還するよう区に申し出があり、協議の結果、当駐車場は令和6年7月1日より株都市開発が管理運営をしています。

とりわけ当駐車場については、定期利用の待機者が非常に多いことが積年の課題となっており、これまで相当数の定期利用待機者がやむなく一時利用をご利用頂いていたものと推察しています。区では今回の移管に際し、定期利用の待機解消を軸に、必要な駐輪台数を確保するよう株都市開発と協議をしてきました。

ご指摘頂いている移管後の一時利用台数の減少については、区も把握しています。現在、株都市開発と定期利用の契約状況や現地の利用状況を見定めながら協議を行っており、一時利用増設について調整していきます。

なお、当駐車場については株都市開発との申し合わせにより、当面の間は移管前の料金を踏襲することとしています。

担当 交通企画担当課

### 3 たとえ、東京都の工事であろうと 令和6年9月2日受付

Q 東京都建設局第三建設事務所による善福寺川整備工事は、平成29年より現在も行われており、当初の計画の2年半が7年半という3倍以上になっています。この工事は東京都の仕事であり、杉並区の仕事ではありません。

しかし、善福寺川は杉並区を流れていますので、たとえ、東京都の工事であろうと杉並区内であれば、区職員は区民の側にたった正しい判断と介入をしてほしいです。区としても人命に関わる危険な工事には介入をしていただきたいです。

A 都による本区間の護岸等の整備工事が当初の予定より長期間となっていることは事実ですが、都による工事の施工については、現地の特性に応じた工法により、必要な安全管理等も行い進められているものと認識しています。

今後の工事においても、工事内容に不安等がある場合には、区にお知らせいただければ、施工方法や手順等について、都へ確認していきます。

担当 土木計画課

#### 4 ランドセルの重さについて 令和6年9月5日受付

Q 現在、子どもが小学校2年生です。教科書に加え、タブレットも持ち帰るようになり、かなり重量があります。タブレットは家で充電する必要があるため持ち帰る必要性は理解できますが、あまりに重いため、何か対策はないでしょうか。ランドセルの中身の軽量化をご検討頂けると幸いです。

A 持ち物をはじめとする学校のきまりについては、児童の実態に応じて各学校で設けています。ご相談いただきました小学校では、現在、児童の負担を考え、通学時のかばんも含め、持ち帰る持ち物についてさらに改善ができないか検討しているところです。持ち物に関してご心配なことについては学校へご相談いただければと思います。

担当 済美教育センター

#### 5 杉並中央図書館にシェアサイクルを置いて欲しい 令和6年9月5日受付

Q 杉並中央図書館にシェアサイクルを置いて欲しいです。区内に積極的に増やしてもらえると嬉しいです。

A 区では、令和5年4月から民間事業者との協働により、シェアサイクル事業を本格実施し、令和6年9月1日現在、区役所、公園及び体育施設等の公有地51か所にシェアサイクルポートを設置するなど、多くの方に利用していただいています。この間、中央図書館では、土曜日と日曜日を中心に大変多くの利用者に来館していただき、駐輪場が満車になることも多い状況があることから、シェアサイクルポートの設置を見合わせていました。

一方で、区内には民有地を含めシェアサイクルポートが500か所以上設置されており、シェアサイクルが公共的な交通手段として急速に普及している状況です。

このことを踏まえ、今後、中央図書館において、来館者の利便性の向上を図る観点から、シェアサイクルポートの設置について、施設内の空きスペースを活用するなど、できる範囲で前向きに検討していきます。

担当 交通企画担当課／中央図書館

## 6 荻窪駅南口喫煙所を廃止して欲しい 令和6年9月6日受付

Q 荻窪駅南口に位置する喫煙所は、駅入り口近くにあり、煙が駅まで入って気持ちが悪く、受動喫煙も甚だしい状況にあります。そもそも、喫煙所が歩道上にあり、その周囲でタバコを吸う方がたくさんいる状況にあります。荻窪駅は、学生等の年少者の利用も多く、子どもの健康にも悪影響を与えていると思います。同喫煙所の廃止を要望します。

A 区では、荻窪駅周辺を路上禁煙地区に指定し、喫煙者の方も多くいるため、喫煙場所を設けていますが、現喫煙場所には、ご指摘のような様々な課題があると考えています。

そのため、現喫煙場所の構造を見直し、タバコの煙や臭い等が出ない、完全密閉型の「コンテナ式喫煙場所」の導入について、有効な対策として、実現に向け検討しています。

担当 環境課

## 7 コンポスト生ごみ減量に対する援助についての提案 令和6年9月9日受付

Q コンポスト機械に対する補助はありますが、生ゴミを減らしたことに対して経済的にメリットが出る仕組みが欲しいです。

我が家では、補助対象ではなかったですがコンポストバッグを利用しています。生ゴミを出す日に驚くほど量が減り、庭の土も良くなっている気がします。

生ゴミ処理を有料化するのが、一番手っ取り早いですが、生ゴミを減らす事に経済的なメリットが制度としてあると嬉しいです。また、ヒートアイランド対策に、どのくらい効果があるか見える化してあると嬉しいです。

A 杉並区における家庭から排出される可燃ごみを調査すると、約3割が食品系廃棄物となっており、食品系廃棄物の減量が可燃ごみの削減につながると考えています。

そのため、区ではフードロス削減に向けた取組として、家庭で使い切れない食品を集め、福祉団体や施設などに提供するフードドライブ事業や、「食べ残しゼロ応援店」の支援、フードシェアリングアプリ「TABETE」の活用のほか、生ごみ処理機購入費の助成を行っているところです。

効果の見える化については、区では、これまでもごみ量や経費の推移をホームページ等でお知らせしてきました。引き続き、よりわかりやすい方法でのお伝えの仕方を研究していきます。

また、経済的なメリットについては、ごみの有料化以外にどのような方法が考えられるか、他自治体の動向も参考に、検討していきます。

担当 ごみ減量対策課

## 8 バースデーサポート事業の拡充について 令和6年9月9日受付

Q 東京都の任意事業でバースデーサポートがありますが、杉並区は現状2歳から、かつ、1万円の支援のままなのはなぜでしょうか。都をあげての推進事業だと思いますので、ぜひ、杉並区でも第1子6万、第2子7万の制度を作ってください。また、現在の状況とこれからの対策の予定についてお聞かせください。

A 杉並区バースデーサポート事業については、東京都の任意事業（以下「都事業」といいます。）を活用して実施しています。先般、都事業が拡充され、令和5年4月1日以降に生まれた子に対しての補助額が第1子6万円、第2子7万円、第3子以降8万円まで引き上げられました。

区においては、2歳になったお子さんを対象としていますので、都事業の拡充を踏まえ、令和5年4月1日以降に生まれたお子さんが2歳となる令和7年度から家事・育児パッケージ支給額の引き上げを行うことを検討しています。

担当 地域子育て支援課

## 9 男性の子宮頸がんワクチン助成を希望します 令和6年9月9日受付

Q 杉並区での男性の子宮頸がんワクチン助成を希望します。東京都が男性の子宮頸がんワクチン助成を実行していますが、あくまで東京都は「自治体が助成を実施したら、その半分を補助する」という制度になっています。

東京都民である以上、任意である以上は接種選択の権利があるかと思います。

A 男子への子宮頸がんワクチン接種については、国の薬事・食品衛生審議会において、男性への4価子宮頸がんワクチンの接種が承認されたことを受け、接種費用助成を開始した区が多数あること、また、今年度は東京都が自治体の助成額の1/2を補助することは承知しています。

しかし、現時点で当区において、男性への子宮頸がんワクチン接種の費用助成を実施する予定はありません。助成制度の創設につきましては、今後の国の定期接種化に向けた検討状況等を踏まえて検討してまいります。

担当 保健予防課

## 10 浜田山駅南口について 令和6年9月11日受付

Q 浜田山に住んで四十年余り、悲願の南口出口の工事もいよいよ大詰めという事で、その日を指折り数えて楽しみにしている者です。その進捗が、ピタッと止まってしまいました。もう駅構内と通路を貫通するだけの段階で棚上げの状態がずっと続いているのを住民はじくじたる思いで見守るしかありません。どうか早めのご解決をお願いします。

A 浜田山駅南口につきましては、杉並区が浜田山駅南側用地の地権者が建築を予定している建築物（以下「地権者建築物」という。）の地下1階及び1階を賃借した上で、地権者建築物と浜田山駅を接続する地下通路を整備し、1階に浜田山駅南口を整備する方針でこれまで取組を進めてきました。この間、地権者と地権者建築物の賃貸借について交渉を重ねていましたが、合意に至らず、地権者建築物が竣工を迎えることを鑑み、賃借することを断念することとなったものです。なお、地下通路の工事につきましては、区が地権者建築物の賃借をした上で行う想定でしたので、区は地下通路を含め南口の整備に係る工事は実施していません。

浜田山駅につきましては、区内にある京王井の頭線の地上駅5駅の中で唯一南北自由通路が整備されていないことや、当該踏切がラッシュ時間帯を中心に「開かずの踏切」となっている現状を踏まえ、区民の安全性・利便性の向上のため、引き続き地域の動向を注視し、京王電鉄の協力を得ながら、南口の整備について検討していきます。

担当 拠点整備担当課

## 11 朝の登校前学校開放・児童預かりについて 令和6年9月13日受付

Q 我が家は、共働き家庭で父と母は午前8時出勤となっています。お互い地方出身で、祖父母に頼ることも厳しい状況です。そのため、2人の子どもを午前7時から保育園に預けています。小学校入学のことを考えると保育園のようにはいかず、1年生の子どもを1人で家に待機させた後、登校させることとなります。このような家庭があることを知っていただき、可能であれば、他自治体のように午前8時前に子どもを受け入れてくれる場所を作っていただくなど、何かしらの対策をとっていただけるととても助かります。

A 現在、区内小学校につきましては、教職員の勤務時間を踏まえ、各学校で登校時刻を設定していますが、学校の実態に応じて地域の協力を得ながら、始業前に校庭を開放する学校もあります。いただいたご意見は、共働き家庭の増加等の社会の変化を踏まえ、今後の課題として関係部署と連携しながら対応を検討していきます。

担当 学校支援課

## 12 西宮中学校のエアコン劣化による熱中症の発生及び状況の長期放置について

令和6年9月19日受付

Q 西宮中学校のエアコンの効きが悪く、子供が帰宅後に熱中症由来と思われる頭痛を訴えました。学校に確認をしたところ、数年前から「教室が暑い」とのことでしたが、まずは、9月中にエアコンの分解洗浄を行い、それでも能力不十分であればエアコン入れ替えなどの対応をとるとの説明がありました。

しかし、前提として「西宮中の建て替え」があったためこの「応急処置」で納得をしていたに過ぎず、建て替え工期が未定なのであれば、早急に入れ替えを進めていただく必要があると考えます。ご検討のうえご賢明なご対応をお願いします。

A 区立学校におけるこれまでの空調機設置に関する取り組みについては、平成21年度から暑さへの対策として普通教室への空調機の設置を進め、平成26年度からは特別教室、令和元年度から体育館への空調機の設置を進めてきたところですが、昭和35年に建築された西宮中学校をはじめ、築年数が経過した校舎については断熱性が十分に確保されておらず、昨今の猛暑も相まって空調機を使用しても冷えにくい教室がある厳しい状況があります。

区としても、環境の変化による暑さ対策を早急かつ計画的に進めていきたいと考えており、様々な対応を図っているところです。

担当 学校整備課

## 13 美術館・文学館の建設について 令和6年9月27日受付

Q 1 美術館について

世田谷区や練馬区、板橋区など近隣地域にはすぐれた美術館があります。特に世田谷区は内容も充実しています。杉並区にも芸術を鑑賞できる美術館をぜひ建設してください。

2 文学館について

杉並区には井伏鱒二、ねじめ正一、谷川俊太郎など文学関係の作家が多く在住し活躍しました。この遺産を眠らせておく手はありません。ぜひ文学館を建設し、貴重な資源を生かしてほしいものです。

A 1 美術館について

美術作品を展示し、多くの皆さんに鑑賞していただく場や機会を提供していくことは、区の大切な役割と考えております。

そのため、区では、区役所2階の区民ギャラリーのほか、セシオン杉並や産業商工会館などに展示スペースを確保し、活用しているところです。

一方、美術館の建設となりますと、公共施設の建設には、用地の確保や建設と運営に要する経費が多くなるという面があります。また、近傍に国や都、あるいは他区にも美術館があることなどを総合的に勘案すると、その建設は難しいのが現状です。

## 2 文学館について

郷土博物館では、井伏鱒二と阿佐ヶ谷会の文士に関する収蔵資料が充実しており、準常設展として「杉並文学館」を年2回開催しています。また、「杉並文学館」に限らず、これまで井伏鱒二をはじめ開高健、有吉佐和子、石井桃子、尾崎喜八といった文学者を単独で取り上げた特別・企画展も開催してきました。このほか、地域史の視点を踏まえ、杉並ゆかりの棟方志功、石山太伯、淡島雅吉など、芸術家を取り上げた特別・企画展を開催しています。

担当 文化・交流課／生涯学習推進課

## 14 富士見ヶ丘駅周辺における歩きタバコおよびポイ捨てについて

令和6年9月30日受付

Q 富士見ヶ丘駅周辺において電子タバコを含む歩きタバコが多発しており、非常に迷惑しています。それだけでなく、路上にはタバコの吸い殻のポイ捨てが非常に多く見られます。杉並区は歩きタバコを全面的に禁止していますが、取り締まっているところを見たことはなく、全く機能していないように思えます。結局は、住んでいる住民が迷惑、掃除をするしかない状態になっています。行政として厳格な対応を希望します。

A 杉並区では、現在6地域を「路上禁煙地区」に指定しています。また、「歩きたばこ」と「ポイ捨て」については区内全域で禁止しています。

ご指摘の地域は「路上禁煙地区」ではありませんが、周辺を確認したところ、数本の吸い殻が散見されました。

区では、喫煙マナーを遵守していただくために、啓発ステッカーや貼り紙に加えて、区職員による巡回指導や、月曜日から土曜日の通勤時間帯に、民間会社等との委託契約による巡回指導を行っています。しかし、区内全域を限られた人員で対応していますので、目が行き届かない点もあり、誠に申し訳ありません。

今後も指導の強化に加え、イベントの際や駅頭などでの喫煙マナーに関する周知・啓発活動の工夫等に取り組んでいきます。

担当 環境課